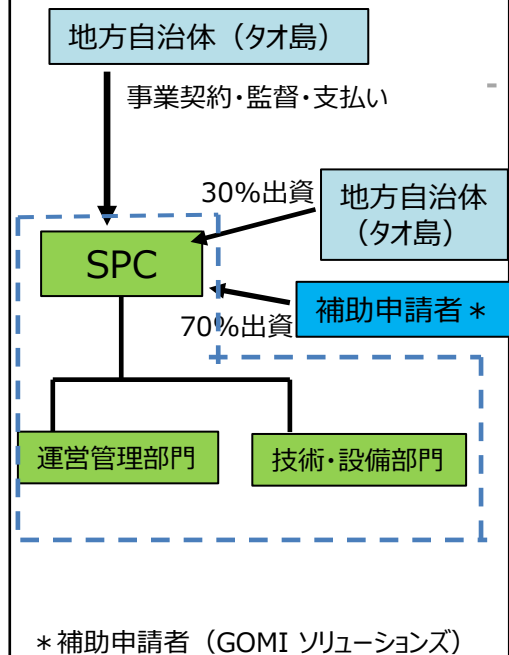


プロジェクト名	タイ王国／廃棄物の脱焼却・埋立型資源循環経済プラットフォーム実証事業		
企業名	GOMIソリューションズ株式会社	企業規模	中小企業・中小企業以外
類型	（類型1）・（類型2）・類型3	分野	GX分野・DX分野・経済安全保障分野
事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額	10.6億円/10.6億円/7.1億円		

事業概要

【想定事業スキーム】



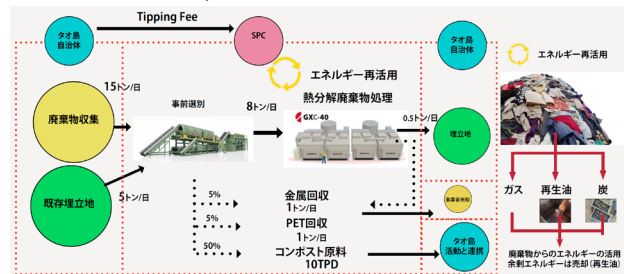
* 補助申請者 (GOMI ソリューションズ)

【概要】本事業は、タイ王国スラタニ県タオ島（人口約8,000人、観光島）において、廃棄物熱分解装置（GXC-40）を用いた廃棄物の再資源化を実証するものである。従来は埋め立てに依存していた廃棄物を資源・原料として再生することにより、GHG排出量を削減すると共に、循環型社会の形成とGXに資する廃棄物処理モデルへの転換を図る。加えて、当社独自の“スマート廃棄物マネジメントシステム”を活用し、遠隔運転管理、処理量・再生資源の可視化を行うことで、自治体が処理費用を負担しながらも財政的に持続可能な運営モデルを構築する。本実証は、島嶼部や観光地など廃棄物処理インフラに制約を有するグローバルサウス地域への展開を見据えた、技術・運営・DXを統合した先導的な大型実証事業である。

【主な技術及び実証性】**再生資源の創出**：弊社の廃棄物熱分解装置を用い、大規模な分別・選別工程を要することなく、混合廃棄物を熱分解処理し、資源・原料として再生することで、循環型廃棄物処理の実現を目指す。**GHG排出量の大幅削減**：弊社の装置は廃棄物を燃焼させない熱分解方式を採用しており、従来の焼却処理と比較してCO₂排出量を72%削減し、埋立地からのメタンガス排出を抑制する。

スマート廃棄物マネジメントシステム：廃棄物投入量、装置稼働状況および回収される再生資源量のデータを継続的に取得・分析することで、観光需要の季節変動に対する処理能力の安定性および自治体が処理費用を負担する運営モデルの妥当性を実証する。

【スケジュール】2026年度：設計・製作 | 2027年度：据付・実証開始 | 2027～2028年度：長期実証・評価



日本便益（日本企業・日本社会への波及効果）

- ・ **日本の離島・観光地・大型イベントにおける設計・運用基準への活用**：タオ島における「観光島×島嶼地域」での廃棄物全量処理実証を通じ、人口約8,000人規模の観光島における通年（365日）実運用データを取得し、日本の離島・観光地・大型イベントに適用可能な廃棄物処理の運用・設計標準（準標準）の構築に活用する。
- ・ **機材輸出による経済効果（約320億円）**：タオ島と同様の条件を有するタイ国内の島嶼地域約40島を対象に、1島あたり約8億円規模の廃棄物処理設備の導入を想定し、総額約320億円の機材輸出を見込む。
- ・ **施設の運営・維持管理による継続的収益（約300億円／10年）**：設備導入が想定される40島において、1島あたり年間約7,500万円の運営・維持管理サービスを提供し、10年間で約300億円規模の運営・保守関連収益を創出する。